

## － 目次 －

ご挨拶	1
<b>病院概要</b>	
峡西病院の理念	2
基本方針	3
患者の権利と責任	4
われわれの職業倫理と臨床倫理	5
「患者と医療者のパートナーシップ」指針	7
環境方針	8
法令遵守「基本原則10か条」	9
峡西病院概要	10
組織図	11
病棟構成	12
病院写真	13
近隣案内	14
精神医療プロジェクト 峡西病院の未来図	15
令和元年度 峡西病院事業報告	25
令和2年度 峡西病院事業計画	27
<b>与進館建築</b>	30
<b>医業概況</b>	37
<b>経営概況</b>	43
<b>各部の事業報告と次期目標</b>	
診療グループ	45
薬剤グループ	47
検査グループ	49
栄養グループ	52
相談心理グループ	54
ソーシャルサポート部	56
精神科デイケア「フレンズ」グループ	58
心理グループ	62

作業療法グループ	63
看護部	66
アスピール (A) グループ	69
ブリエ (B) グループ	73
クレル (C) グループ	79
リスタートグループ	84
外来グループ	90
アルプス訪問看護ステーション	92
事務グループ	94
経営企画部	97

### 各委員会・研究会事業報告と次期目標

感染予防研究会	101
事故予防委員会	105
薬事委員会	108
栄養管理委員会	111
行動制限最小化委員会	113
褥瘡対策委員会	115
クリニカルパス委員会	118
治療プログラム委員会	121
レクレーション行事委員会	123
防災委員会	125
労働衛生委員会	127
広報委員会	130
教育委員会	132
接遇委員会	134
地域医療会議	136
老人ケア検討会	137
NST委員会	140

### 研究・学会発表

知的障がいを持ち解離性・転換性症状がある患者とのかかわり 秋山あけみ 塩沢健雄	142
令和元年度 目標管理 成果発表会	145

# ご挨拶

令和という新しい時代を迎え峡西病院も新たな第一歩を踏み出す年になりました。2013年4月より地域外来医療プロジェクトを発足させ、地域や外来に留まらず2014年には精神医療プロジェクトに発展し、様々な事業を展開してきました。そのプロジェクトの目指すところは「入院医療中心の病院完結型医療からの脱却」であり、病気の治療は中間的な目標であり生活の回復を最終目標とし、精神科リハビリテーションを前面に事業展開を行ってきました。その象徴が令和元年1月から開業した与進館（外来・リハビリテーション棟）になります。

峡西病院は南アルプス市という地方都市における地域の精神医療の中核となる病院であると考えております。そのため、大都市における極端な急性期医療や、過去の精神科病院の特徴でもある極端な慢性期医療に偏ることなく、地域のニーズに適切に応えられる病院を目指しています。令和元年度は、今までの「年間平均在院患者数何人以上」のような入院患者数が多いことが良い病院であるかのような入院医療を中心とした考えから「年間平均在院患者数基準値」としました。これにより、基準値より下回るときは入院医療の必要な方を看過していないか、基準値より上回るときは地域に復帰させる努力を怠っていないか、というように入院医療の位置づけを変えてきました。その結果として、ほぼ基準値に近い結果でバランスの取れた医療の質と経営を実践できたものと考えています。

今後も精神科リハビリテーションを中心とした経営活動を模索しながら、未来の精神医療の担い手となれる病院になっていきたいと思っております。

令和2年吉日  
特定医療法人峡西病院  
院長 川崎 洋介